

## 山梨県で学校の先生になろう！（先輩教員の声）



富士河口湖町立船津小学校

栄養教諭 早川 里美

令和3年度採用

山梨県出身

### ◆学校の先生になった理由

子どもたちの「健康」に貢献できる仕事をしたい、「食」について伝えられ、料理で「笑顔」になってもらいたいという思いから、資格を活かせるこの仕事を選びました。学校栄養職員で採用され、栄養教諭に任用替えとなり2年目です。

### ◆学校の先生の「やりがい」や「魅力」

子どもたちに「食べてみたい」と思わせるような献立を工夫したり、声掛けを考えたりするところに、難しさややりがいを感じています。「にがてな魚も食べたよ」「お家で給食と同じ料理を作ってもらったよ」「食器の正しい置き方を覚えたよ」などの子どもたちの声が聞けると、仕事の成果を直接感じることができ、充実感を得ることができます。

### ◆学校の先生として心がけていること

子どもたちと積極的に関わり、意識して声かけをすることです。その中でも、「あいさつ」を大切にしています。朝や帰りのあいさつ、食事の時のあいさつ、感謝のあいさつなど学校生活の中で当たり前のことのできる大人として子どもたちの身近な存在になれたらと思っています。

### ◆私が目指す学校の先生像

食に関する専門家としての的確にアドバイスできるよう、一人一人の子どもと向き合い、子どもたちのがんばりに気づき、励まし、褒めてあげられるような子どもたちに寄り添える栄養教諭でありたいと思っています。

### ◆山梨県の学校の先生を目指す方へのメッセージ

栄養教諭は、学校給食を通して、食育によって人を育てるという職業です。食物アレルギー対応や厳しい衛生管理のもと、常に細心の注意を払わなければならない面もありますが、責任ある仕事だからこそやりがいもあります。山梨県の子どもたちの健康を、学校給食を通じて一緒に支えていきましょう。



### ◆わたしの学校（職場）の雰囲気

朝のあいさつから始まる活気ある職場です。気づかみや配慮が自然とでき、お互いの長所を生かし、弱点をカバーしあいながらチームとして仕事ができる、信頼しあえる職場です。

## ◆退勤後や休日の過ごし方

2人の娘をもつ親として塾や部活の送迎など、子ども中心の休日を過ごしていますが、子どもから親としての喜びもたくさんもらっています。3年前からは、仲間との週末早朝山登りで体力づくりに励み、ワークライフバランスを保ちつつ、充実した日々を過ごしています。

## ◆早川里美先生の1日

内容	解説
出勤	4時半に起床し、娘と夫のお弁当と朝ごはんを作り、出勤です。学校に着いたら、当日の食材の確認、作業の最終確認を調理員さんとします。
給食室の衛生管理 調理指導	調理指導・衛生指導を行います。切り方や味、配食量など調理員さんと確認します。伝票整理や事務仕事（献立作成・発注等）も行います。
給食指導	給食の配膳や給食の量、食物アレルギー対応等をクラスをまわりながら様子を見たり、手伝いをしたりします。給食時間は無言給食ですが、今日の給食の食べ物の話をしたり、個々に声掛けをしながら子どもたちの給食の様子を見ます。
片付け	片づけの確認をしている時には、子どもたちから今日の給食の感想を聞くことができます。残食の量を確認し、次回の献立の参考にします。
給食事務	献立作成、発注、給食日より、掲示資料、伝票整理、食物アレルギー対応等、事務仕事をします。 月1回の委員会活動の日には、給食委員会を担当し、活動内容を振り返ったり、今後の活動についての確認をします。児童と直接関わる大切な時間です。
打合せ	調理員さんに今日の給食の子どもたちの様子を伝えたり、次の日の調理作業の確認をします。
退勤	